学校名	京都西山高等学校(全日制課程)				
所在地	京都府向日市寺戸町西野辺25				
電話番号	075-934-2480				

(1)		<b>-</b> ,,		-					
建学の精神	本校の教育は、仏教の報恩と感謝の精神を基盤として高い知性と広い教養を身につけ、常に礼儀正しく、責任を重んじ、勤労を尊び、心から喜んで働く心身ともに健全な生徒の育成をめざす。								
(2)	本校は令和9年、創立100周年の節目の年を迎える。様々に変化する時代の流れの中、教育機関としてさらに変化・発展するため令和4年度から男女共学化し、今後も地域社会や世の中の要請にこたえ続ける教育機関として、その役割を果たしてまいりたいと存じます。本校は、特進コース、総合進学コースを設置し								
本校の特色及び 将来展望	ており、特進コースでは国公立や難関私立大学への現役合格をめざす。総合進学コースでは多様な生徒のニーズに応えるため、2年次より保育系、スポーツ系、キャリア系を選択し、大学進学はもちろん専門学校や就職などあらゆる夢の実現をサポートしています。また課外活動においても、放課後学習支援プログラムを導入し、専門の教務メンターチームが担任や進路の教員と連携し、生徒一人ひとりに合わせた校内完結型の学習環境を提供している。また体育系・文科系ともクラブ活動が盛んで全国大会等に出場するクラブが数多くあり、様々な場面で生徒が充実した高校生活を送れるよう取り組んでいる。								
(3)	【1年生】	入学金	施設拡充費	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料		
┃ ・令和5年度納付金		80, 000		516, 000			20, 000		
	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計			
※学科やコースによって				516, 000		660, 000			
納付金に差異がある場合  は最低額を計上。	【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計			
			Ī	516, 000	144, 000	660, 000			
・今回改定なし			-						
・前回改定							、学金、授業料及 、 P T A 、生徒		
令和 2 年度		会等、学校法	会人とは別団体	に属する経費	費、任意寄附金	及び給食費は除外	0		
・今後の納付金に 対する考え方	納付金については令和2年度に若干の改定を行ったが、京都私学の中では比較的低額な水準を今後も保っていきたい。さらに、ICT機器の整備や教育環境の充実を図り生徒に還元していきたいと考える。今後も保護者の負担には十分配慮し、納付金の増加につながらないよう長期計画を実施し「生徒なくして学校の発展はない」という考え方のもと、生徒に対する、「よりよい教育環境(ソフト)の提供」、「よりよい教育環境(ハード)の提供」のために財源を充てていきたい。								
(4) 教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況	教室にプロジ たエコキャン から一層信頼	ジェクター完備 ノパスや安全に 頁される学校で	構し、ICT教 こも配慮し、伝 づくりを目指し	対育やアクティブラ E統を重んじ。 いたい。	ラーニングに対応しる中に、時代の	た教育環境がさら	ディ完備、全普通 らに充実した。また、生徒や保護者		
以音"加儿寺"从儿	一台のキーオ	ドード付きタフ D効率化、ペー	ブレットを導入	、している。	また教職員にお	いても全員にノー	ートパソコンを配 t会に役立つ人間		
(5) 令和5年度の保護者 負担軽減策及び考え方	度を設置し、 学校独自の ・第1号 ・第2号 ・姉妹道	居住地による り奨学・修学す 奨学生・・・ 奨学生・・・ 通学者優遇・・ ミリー奨学生制	学費負担の差 を援制度の主な 授業料・教育 授業料・教育 姉の授業料・ 間度・・保護者	を軽減する。 はものは以下の 費の全額を奨 費の半額を奨 教育費の半額 後又は姉が卒	よう努めている のとおり 学金給付 学金給付 額を奨学金給付	の場合入学金を糺	こ学費軽減補助制 合付		
(6) 今後5年程度の保護者 負担軽減計画	京都西山高等る。また、特本校は、京	等学校像」にて 学内の様々な情	ついて学内はも 情報や財務状況 こ高校に比べて	」とより学外1 記についても、 「奨学金の範	にも意見を求め 、ホームページ 囲が広くその額	、変化・発展して 等で常に発信して	に対して魅力ある こいきたいと考え こいきたい。 なっているが、今		